

## ■新コマンド

PWM n,m,l パルス出力 n:ポート 2~5 m:周期 20msec 中 0.01msec 単位で HIGH 時間指定 0-2000  
サーボ用 100-200 前後 l:0.01msec 単位の周期指定(省略可能)

UART n,m シリアル出力を制御 n:出力制御、m:入力制御 (n=0:出力なし、1:PRINT のみ、  
2:PRINT/LC/CLS/SCROLL(初期値)、3:改行¥r¥n 変換モード) (m=0:入力受付ない、1:入力を受け付ける(初  
期値)、2:ESC 無効モード)

SRND 乱数初期化

LANG() 言語種を返す (1:カタカナ&ローマ字入力、2:キリル文字&モンゴル語配列)

DEC\$(n,m) 10 進数の桁数指定付き表示(PRINT 文内で使用)

STOP プログラムを中断

CONT 実行中または中断した行を再度実行する

LINE() 実行中の行番号を返す(非実行中は 0)

RESET リセット (電源入れ直し相当)

## ■機能追加コマンド

OUT 7,1 LED も OUT コマンドで制御可能に変更 (OUT #3F で OUT1-6 と LED を全部 ON に)

OUT n,-1 出力ポートをアナログ入力ポートへ切り替え対応 (OUT1-4 → IN5-8/ANA5-8、  
OUT5,6 → IN10,11, IN1-4 を OUT8-11 へも切り替え可能)

ANA() BTN 端子でのアナログ入力に対応 ANA(9)も同様 (従来の IN2 を使ったアナログ入力は ANA(2)に  
変更)

BPS 通信速度設定追加 (n:nbps、0:115200bps、-1:57600bps、-2:38400bps)

PRINT 特殊キーコード(15:挿入/上書モード切替、17:言語切替、21:続く 2 文字で XY 座標指定(座標+32))  
シリアル入力時有効

CLS シリアル出力対応 (0x13、0x0c)

SCROLL シリアル出力対応

LOCATE シリアル出力対応 (特殊キーコード 21 に、2 文字で XY 座標指定(座標+32)が送信される)

VIDEO 0,n 画面を非表示にし低消費電力 CPU クロックダウンモード (1:デフォルト 48MHz、2:1/2、  
3:1/3 ... 255:1/255)

FILES n,m 範囲指定方法変更(n~m)

USR 呼び出し可能領域#700~#1000 まで拡大(従来#700-#800)、第二パラメータ(R1)に MEM#000  
の基準アドレス、第三パラメータ(R2)にキャラクターROM の先頭アドレスが渡る

RENUM 第一パラメータが 0 以下でエラー、第二パラメータで増分指定対応 (省略時 10)

SLEEP ボタンが離されるまで休止しないように変更 (LPC1114 のバージョンによって復帰しなくなること  
がある不具合に対応)

#FF 16 進数表記後の空白を区切りとして認識するよう変更

<< マイナスの値指定で右シフト

>> マイナスの値指定で左シフト

GOSUB 省略形 GSB 追加

RETURN 省略形 RTN 追加

AND 省略形 && 追加

OR 別称 || 追加